

SHARP

シャープ社友会
栃木支部

2005/1

新春号 (第15号)

日光

栃木

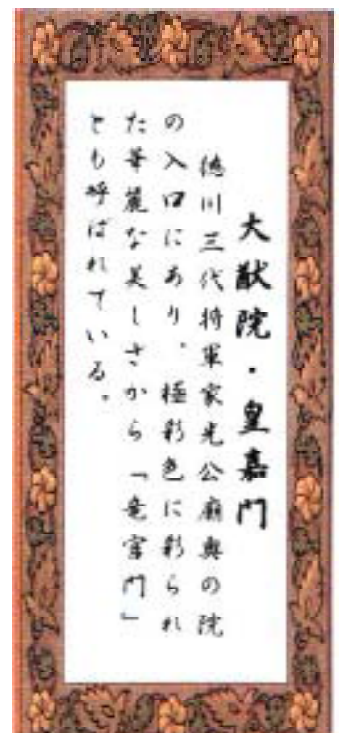
発行責任者
浦川 正司



写真撮影 只友 将弘 氏 (会員番号 2026)

タイトル

紺碧の空に、燦々と輝く
日の光、緑豊かな大地。自
然に恵まれた栃木をシンボ
ルします。と、同時に当地
を代表する観光名所『日光』
を顕します。



大猷院・皇嘉門
徳川三代将軍家光公廟奥の院
の入口にあり、極彩色に彩られ
た華麗な美しさから「竜宮門」
とも呼ばれている。

第十六回 支部定期総会 活動方針 決まる

第十六回支部定期総会は平成十六年五月三十日、大田原市シャトーエスポアールにて六十二名の出席を得て開催。会社より小林総務部長ほか一名、労組より印南委員長ほか一名の来賓より、会社・労組の近況紹介があった。井村俊朗氏を議長に選出の後議事に入り、平成十五年度活動報告、会



支部活動を説明する 浦川 支部長



計・監査報告を承認。浦川支部長ほか支部役員より十六年度の方針・予算を提案承認。この後懇親会に移り午後三時散会した。

懇親の会員諸氏



第16回総会に出席のみなさん

『活き活きと楽しく』を目指して 会長 蛇草賓太郎



栃木支部会員の皆さん、明けましておめでとうございませう。新年の始めに当たり、皆さんが新たな希望と決意で二〇〇五年の第一歩をふみ出されたことと想い、お慶び申し上げます。

さて私はというと、昨年六月に前会長の皆さんのあとを受けて「会長」という大きな肩書きをいただくことになったのですが、以来どんなことをさせて頂いたら皆さんのお役に立つのか、喜んで頂けるのかと考え続けて来ました。しかし、正直なところ、新年を迎えた今日に至っても、未だ「これなら・・・」と言える具体的なものは見付けることができないでいます。しかし、「こんな考え方でやればどうだろうか・・・」と思うことをご報告したいと思います。

私たちがシャープのOB・OSは永年労苦を

共にして働いてきました。そして家族への役立ち、また社会への役立ちをそれなりに果しましたが、その中で働く喜びや生き甲斐を見出しながら、がんばってきたと思います。しかし、定年を迎えて職場を離れ、仕事から開放されて自由度がふくらんだ反面、何か満たされない部分があるのを感じておられる方も少なくないのではないのでしょうか。

「人生の仕上げ」の時期にある私たちは、「活き活きと、楽しく、何かやりたい」と願うのは当然のことだと思います。

大それた望みではありませんが、最近私は、「そういうニーズにもう少しよく応えること」ができて、会員の皆さんにもっと活用してもらえらる社友会でありたいなあ」と思うようになりました。というのは、さきごろ、会員の皆さんの「社友会活動への参加状況」を調べてみて、ショックだったからです。

社友会は永年シャープで働き、同じ釜のめしを喰いながら苦楽を共にしてきた、気心のよく知り合った仲間同志の「親睦の会」であり「はげまし合う会」であるのですが、何故か「同好会・クラブ」に参加せず「行事や催し」にも顔を見せないでいる方々が意外に大勢いらつしやることを知ったのです。

このようなことから、私は社友会として、もう一歩進めて何かをやらなければならぬ

ことがあるのではないかと思つたのです。

そしてまた同時に、社友会の運営やいろいろな活動は本部・支部が夫々主体性をもって自主的にやることにはなつていますが、今少し、連繫してやれば、良い事もあるのではないだろうか、などと思うようにもなりました。

今年、私はこんな幾つかの思いについて皆さんとよく相談しながら、会員の皆さんに喜んでいただける事を、一つでも二つでも具体化して実行できればと願っています。

最近、世界中至る所で人災(戦争、テロ、凶悪犯罪等々)や天災(地震、風水害等)があまりにも多く、世の末かと絶望感に襲われることもしばしばです。

今の世の中、ほんとうに厭になるような出来事が毎日のように起つていますが、そんな中でも、会員の皆さんが『社友会活動に好きなスタイルで積極的に参加すること、活き活きと楽しく人生の仕上げを前進させる励みになった。』と実感していただけるような、そんな社友会をめざしてがんばろうと、私は今年の始めに当たつて強く思いました。皆さん、ぜひ建設的な提案と活動への積極参加で協働して下さいようお願いします。

終りに、本年が会員の皆さんとご家族にとつて良い年でありますように、お祈りして新年のごあいさつと致します。

前 進

栃木支部長

浦川 正 司

希望にあふれる初春を迎え、各位にはそれぞれの夢と目標が一段と光り輝き幸せを寿ぎお祝いされた事と推察申し上げます。共にお喜び申し上げます。

さて、当支部も十七年目の新春を迎えます。設立当時は五十六名でしたが現在二百三十名を超えるマンモス組織となり、運営も多様化し夫れなりに各担当幹事さんにはご苦勞戴いています。

私も過去を回顧しますと何を残し得たか疑問の数々で四国遍路・西国観音巡拝を終えて何かを掴み前進と願いましたが、凡人であり此という成果が得られず会の運営に貢献できずに新年を迎えました。

去年は申年で干支に肖り機敏性・頭脳の賢明さを取り込み何かを遣らねばいけないと務めました。結果は春の淡雪で積もり掛けては消えてしまい年輪のみ経過して干支に肖ることが出来ずに困惑の年でした。

回顧はさて置きまして新年を迎えました。皆さんも初詣をすまされた事と思いません。各地で参拝に語り継がれる話

があります。出羽三山は、月山・羽黒山・湯殿山を総称したもので、羽黒山は「現在」月山は「過去」湯殿山は「未来」を表し、三山をこの順に巡ることで死と再生を体験することになると言う過去の汚れをすて、新しい自分に生まれ変わるわけだ。

だから訪れる信者が身に着ける白い装束は、死に装束であり産着でもある。羽黒山の山頂には三山の神を祀る三神合祭殿が立つ。冬の間は月山・湯殿山は雪に閉ざされ参拝が出来ないが、ここに来ればいつでも三神が迎えてくれる、私も三山詣りを済ませて再生しました。今年は酉年であり羽ばたき・鳴き声も「ケッコウ」と幸せな年になる事を念願する者で、社友会も一段と大きく羽ばたき変化を求め改革の年であると痛感いたします。

新入会員の増加で会員年齢も若返りました。若い力を結集し支部の独自性を活かした活動を願望致します。運営の方向が不変的で協議が難航する場面もあり、とは言え一律的な活動は年齢差もあり各

位の相互理解・互助の精神で協調性を高め再度構築する年であると思っております。考えていると或る詩の一部が思い浮かびました。

他に欲しいものは

何も無い何も要らない

ただ同じ空気を吸って

同じ時間を共有する

新春を迎え残された任期を頑張りたいとおもいます。新年賀詞会で皆さんと歓談し、笑いの中で夢ある活動を模索し幹事会で討議し、現在のクラブ活動以外の新企画等々立案のうえ、五月の定期総会に全員が参加し運営に関し審議戴き新体制で一段と飛躍した支部へと再挑戦を願望いたします。



社友金の皆様方には幸多き新年を

迎えられたこととお慶び申し上げます

シャープ栃本は今年もリフレッシュで戦います



上げます。

さて、デジタル家電を取り巻く経済環境は2004年度前半はオリンピック効果もあつて景気は国内外において順調と言われ、一部にばらつきがあつたものの大手各社は概ね回復基調で好決算発表が相次ぎました。しかし、イラク情勢や中国景気の減速、石油価格高騰、米国の双子の赤字問題もあつて、各シンクタンクの後半見通しはまばら模様の様相となっております。とりわけ、電機業界の内外動向は、市場価格の下落基調は引き続きものとみられ、積み上げた在庫の圧縮に動き、特にディスプレイは台湾筋を筆頭に慎重な経営に転換をしており、こうした情勢はまだ暫くは続くものと見られます。

このような経営環境の中、シャープは世界最強ディスプレイの液晶をはじめとする「オンリーワンデバイス」を核とした、「オンリーワン商品」独自特長商品)の創出に取り組み、液晶テレビ「A

AVシステム事業本部

総務部長

小林昭司

QUOS(特に亀山ブランド)や新型調理器「ヘルシオ」、携帯電話など高付加価値商品の伸長により中間決算ではお陰様で過去最高売上・利益を達成するとともに、環境活動、CSR活動への積極的な取り組みもあつて、ブランドイメージも非常に高いポジションとなりました。これも皆様方のご支援の賜物と感謝いたしております。

特にAVは、37型45型などのAQUO S大型モデル亀山一貫生産が順調にスタートし、十一月には同工場が「第一回日経ものづくり大賞」に選ばれたばかりか、(エレクトロニクスショウ)「CEATEC JAPAN」(十月初旬幕張)で発表された「65型」AQUOSは各社に強烈なインパクトを与え、既に引き合いが舞い込んできております。フラットパネルについては、来年度以降、サムソン・東芝連合や、日立・松下・東芝連合、キヤノン・東芝連合との激しい競争が予測されますが、市場を見極め、スピーディーな開発生産販売体制を展開して粘り強く勝ち残る所存です。また、HDD内蔵DVDレコーダーの拡充、BDレコーダーのデビュー、オーディオの栃木展開・海外開発生産強化、プロジェクターの海外生産強化など更なる事業構造の変革に積極的に取り組んでおります。

技術開発強化、生産革新はもとより、今後ともレベルの高いCSR活動(企業の社会的責任)や環境配慮が求められてきます。CSR活動では、人権(セクハラ、パワーハラ)、男女共生のためのポジティブアクション、労災(長時間労働含む)、安全衛生など各分野に対して社員のみならず関係取引各社、関係者などの意識啓発や問題解決を図ってまいりました。特に本年度は地域貢献活動を活発化するために、社友会の皆様のご協力を得て、サマーフェスティバル拡充、二人平均年3回以上の計画的参加)を目標とした地域クリーン活動では、十月末で既に延べ3000名を越える参加となりました。また、市幹部や関係官庁との定期的な情報交換も図り、地域の一員としての事業所活動もスタートしております。時代感覚として、企業価値は今までの常識、慣行、考え方のままでは市民社会、国際社会に受け入れられないことを感じ、好調AQUOSに奢ることなく、地に足を着けた積極的かつ誠実な活動を続けようとしております。社友会栃木支部の皆様方からもより一層の厳しいご指導とご鞭撻を仰ぎながら進めてまいりますのでこれまで以上のご協力とご厚情のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、シャープ社友会栃木支部のご発展及び会員皆様方のますますのご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。

ご挨拶

シャープ労働組合栃木支部

執行委員長

印南 幸裕



工場として順調にスタートいたしました。また、開発スピードを上げ、品質、コストを追求し、シャープの「アクオス」を大型テレビの中で確固たる地位を築く為に、技術部門を中心に多くの人たちが亀山工場周辺に移動をし、慣れない土地で頑張っています。

労働組合の活動もスピードと変革が求められています。諸先輩が築いていただいた道しるべを大切にしながら、引き続きご指導をお願いいたします。

シャープ社友会栃木支部の益々の発展と会員皆様のご健勝を心からご祈念申し上げます。本年もよろしく願っています。

矢板市議会議員

中村ひさのぶ

新年明けましておめでとうございます。皆様方には益々ご健勝で活躍の事とお慶び申し上げます。

私も毎日元気に『夢と笑顔のあるまちづくり』をめざし、皆様方のご期待に添うべく奮闘しています。

昨年は、子育てに関する不安の解消や、経済

的な負担の軽減を図るために、乳幼児医療費助成制度申請の簡素化や学童保育の充実など『子育て環境の整備・充実』や、信号機設置や交通指導員の配置などの『安全対策』将来の発展に必要なJRの利便性の向上や企業誘致など『活性化と魅力のあるまちづくり』に取り組んでまいりました。

本年も、私の思いであります『夢と笑顔のあるまちづくり』をめざし、皆様の代表として頑張つてまいります。

引き続きご支援を賜り、まちづくりに関するアイデアや情報をお寄せいただきますよう、お願い申し上げます。



新年あけましておめでとうございます。社友会栃木支部の皆様方には、希望に溢れた新年を迎えられたことお喜び申し上げます。日頃は、浦川支部長をはじめ多くの皆様に労働組合の活動に対しまして、ご理解とご協力を頂いている事に心より感謝申し上げます。日本経済が回復基調にある中で、昨年一月にはシャープの社運をかけた亀山工場が本格稼働をし、液晶のパネルから大型テレビの一貫生産

世界一 四尺玉が夜空に舞う

片貝の花火大会

九月十日(十一日)、一泊二日コース参加者三十名で、恒例の懇親旅行を実施しました。

NHKの朝ドラ「こころ」のロケ地、世界一感動の四尺玉花火・三尺玉発祥の地と言われている、片貝まつり花火大会を見て、七つの温泉「七福の湯」で心身を癒しました。

朝ドラ「こころ」で花火師の親方を演じていた 竜 雷太をゲストに迎え、午後七時三十分待ちに待った花火の一発目が打ち上げられました。いよいよ、四尺玉を代表として、三尺玉やスターマインドなど一万五千発の花火が片貝の夜空に思いを乗せ舞い上がります。

当日の花火会場は秋雨に会い、時々小降りになったり、上がったりの天候の中でしたが、花火は夜空のキャンバスを彩り、美しく花開き、感動しました。五号・七号・十号・尺玉と段々大玉の花火が上がり、そして尺玉の三連発・五連発と豪快に打ち上げられました。この尺玉の連発を見た後は、尺玉一発では最初に見た感激は無くなり、もっと、もっとと連発の花火をと思いました。

世界最大級の花火と言われた、三尺玉を最初に打ち上げたのは、実に明治初年のことでした。

以来大型花火発祥の地として、千九百八十三年・八十四年の手痛い失敗を経験して、千九百八十五年には世界一の大玉・四尺玉の打ち上げを成功させ、直径八百メートルの大輪の花を咲かせました。当時一発二百五十万円の四尺玉打ち上げの失敗にもめげず、世界最大の花火に挑戦

し続けた片貝町民の意地は見事です。

午後十時、重さ四百二十kgの四尺玉を地上八百メートルの高さまでうちあげる。高さ5・2メートル厚さ1・8センチの鋼鉄製の筒、クレーンで慎重に筒の中へ入れて、いよいよ祭り最大のイベント世界一大きいと言われている四尺玉の打ち上げである。

会場全体が一つに集中し、一点を見つめると、ドシンと言う発射音と共に、紅小花から錦の大千輪菊が夜空を支配、八〇〇メートルの花火が広がった。スゴイ、スゴイの感激でした。もう一発が欲しい……

* 片貝の花火は地元の浅原神社秋季大祭が始まりで、江戸時代からの歴史があり、明治二十四年には三尺玉を四発も打ち上げたことから「三尺玉発祥の地」と言われています。

古くから、子供の誕生や還暦・厄払いなどに因んで、町の人々が神社に花火を奉納する習慣があり、その花火が夜空を彩っているのです。

* 片貝の四尺玉

- ・ 直径 百二十センチ ・ 重量 四二〇kg
- ・ 大空での大輪 八百メートル
- ・ 地上より上がる高さ 八百メートル
- ・ 煙火筒 高さ 五メートル
- ・ 重量 三・五トン

翌日は雨も上がり、西福寺開山堂・宝徳山稲

岩村 博

荷大社を拝観し、しらね大凧と歴史の館を見学。凧上げを体験し童心がよみがえりました。寺泊で昼食・ショッピングを楽しみ無事矢板へ予定より早く帰ることができました。



越後大湯温泉 ゆの宿 峽里(かいり)の玄関にて

伊勢街道は餅街道

平成十六年九月

上野 敦

○オリンピックで大勝利

アテネオリンピックの日本選手が華々しい戦果を土産に、帰国したのはつい先日。その間に思い出される。神話の国ギリシャと言うだけで頑張れるのだろうか。女子マラソンの野口みずき選手が西日を浴びてマラソンの丘を先頭に立って駆け下りる姿は、日巫女の再来を思わせた



くらいだ。オリンピックマラソンの二連覇である。ギリシャの神々も吃驚しているはずだ。

我が国には古来、オオヒルメ、オキナガタラシヒメ、イトヨヒメ等言いしれぬ能力の女性がつきつきに現れた。これらの女人は何を食っていたのだろうか。オリンピックの日本人選手は餅が好きらしいのだが。

○祝亀山工場完成稼働

さて、俳句吟行に三重県に誘われて行くことがある。俳句の祖は守武のずつと昔の日本武尊とされる。連歌の祖、筑波の道の祖である

ヤマトタケルの墓地も三重の亀山の近くの能褒野(のぼの)にある。俳祖と呼ばれる荒木田守武は伊勢内宮の権宣であった。



伊勢神宮内宮

守武の墓、句碑、旧居跡碑が伊勢神宮の内宮近くにある。

松尾芭蕉は伊賀上野の出身で、記念館や生家等があるし、伊勢のおかげ横町には「山口誓子俳句館」がある。加えて、五十音順でひく辞書の最初とされる「和訓栞」(わくんのしおり)の谷川士清(だにがわことすが)は三重の津の出身で旧宅は記念会館となっている。これらは吟行のあとよく立ち寄るところだ。そういう三重の地に亀山工場が出来、四月に社友会の見学

会に参加できたのは何かの縁かも。

・ 伊勢に七度熊野に三度

どちら欠ても片参り

・ お伊勢参らばお多賀に参れ

お伊勢お多賀の子でござる

などの僅諺にみるまでもなく伊勢は今も参詣客が年間を通じて極めて多い。

○松阪の幻の餅博物館

飛鳥・奈良、に都があった頃からの伊勢街道は伊勢本街道で海石榴市、初瀬、名張を行く道である。だが、一般に今伊勢街道と言えば東海道の日永から南下する道で、東海道の関から南下するのは伊勢別街道と呼ばれている。伊勢神宮は江戸時代の「お陰参り」や「ぬけまいり」で賑わって来て、今も賑わっている。お餅は、旅の疲れに大変受けたようので、四日市、津、松阪、伊勢の道筋に色々の名の餅が名物としてそれぞれの味と名を誇っているらしい。



伊勢へんば餅



赤福餅

「伊勢に來られる道々の名物餅を召し上がるのもいいものですよ」と餅の名前を即座に挙げて下さった町の人が印象に残る。なが餅、あやかり餅、すずもなか、へんば餅、さわ餅、赤福餅、利久饅頭、それぞれ由緒があるらしい。他にまだまだあるようだ。



かつては松阪に餅舎と言う私設の餅の博物館があつたが惜しくも廃れた。餅を研究しないと参宮のことは理解できないと言ふ人もいるくらいだ。

○全ての道は伊勢に通ず

敷島の道の祖と言へば雄略天皇である。敷島の故地は柳井市の東部で、朝倉宮があつた。万葉集の巻頭の歌が雄略の御製である。

埼玉県行田市の埼玉稲荷山古墳、熊本県玉名

郡の江田船山古墳の象嵌銘で実在が確認された天皇である。ワカタケル大王である。大和から伊勢への古道は数多い。

百人一首の
山川の風のかけたる柵は
流れもあへぬ紅葉なりけり

の作者春道列樹(はるみちのつらき)の春道は治道で、今の天理市北部から東への道を治めていたらしい。

ここを通る南北の道は上ツ道で西は龍田道で今も旧道が存在する。治道社の遺跡があり伊勢物語の在原業平の縁の在原神社があり筒井筒の井戸がある。ここから伊賀上野を通り長野峠を経て伊勢に通じる。

初しぐれ猿も小蓑をほしげ也

芭蕉

今の国道163号で芭蕉旧居横の道で津市に出る。

大和街道。伊勢街道という。木津から伊賀上野の道はいわゆる伊賀越えである。榎井市からはほかに青越伊勢街道(伊勢表街道) 伊勢街道南路がある。脇道も多岐である。

おのずから伊勢みちとなる

夏木立

桂信子

京都からはお斉峠経由で伊賀上野に出て青越伊勢街道。このルートは本能寺の変で堺にいた家康が伊賀の忍者の助けで、伊勢経由三河へ逃れた道で知られる。

芭蕉も大津へはお斉峠を通っていた。

江戸時代伊勢地方は紀州藩に属していたので、伊勢街道南路は鷲家口から吉野川沿いに五条、

橋本を経て和歌山に通じていた。

ここに生駒のくらがり峠とは別に芭蕉の「笈の小文」に出てくるくらがり峠があつた。

紀伊国名所図絵によると、ここに茶屋かおり「夫婦饅頭」が売られていて、紀伊参宮の送迎客でにぎわった事が出てくる。今は茶店もなく幻である。



松尾芭蕉

上記の他に、名物の餅として安永餅、関の戸、立石餅、いが餅、まつさか餅、けいらん、太閤餅、二軒茶屋餅、御福餅などが健在のようだ。機会があればひととより食べてみるつもりだ。

山歩きの魅力

志賀 実

社友会の「歩こう会」に誘われた当初、運動不足の自分には、山道を歩くと息切れや時々みまわれる膝痛で、ちよつと無理かな？いつまで続くかな？と思いつつも早五年を過ぎました。どうも人は高いところが好きなので、すっかり山や溪谷の誘惑に乗りつぱなです。

今回は、奥日光の「半月山」と「社山」の縦走に参加しました。何れも栃木百名山に名を連ね、稜線から見下ろす展望は気持ちの良いものです。奥日光の魅力は、何と言っても山と湖の自然美でしょう。特に中禅寺湖とその周辺の山々からの展望は、季節毎の魅力を見せてくれます。

さて、
中禅寺湖
スカイライン
インの終
点駐車場
に着いた
のが午前
9時頃、
山並みを振り返ると、中腹に白い綿雲がぼかりぼつかり浮かんで、良い天気予感。こ



中禅寺湖スカイライン駐車場から足尾側山並みを見下ろす

ここから半月山へ登ります。登り始めはやや急坂で、すぐに緩やかになり、再び急なジグザグの斜面を過ぎると半月山展望台に到着、目の前に男体山とその周辺の大パノラマが開けて深呼吸、疲れが吹っ飛びます。暫し展望を楽しんだ後、反対側の少しきつい稜線をジグザグに下ると、間もなく半月峠、左右に見え隠れする中禅寺湖や足尾の山々を見下ろしながら進むと、正面に三角形の鋭鋒「社山」が見えます。え、あそこまで登るの？、皆でわいわい言いながら暫く進むと阿世潟峠に到着、ここが社山への上り口。



半月山から男体山を望む

一休憩の後、林の中の急坂を登りきると展望が開け、山頂まで日光側は落葉樹林、足尾側は唐松林の尾根歩きで、急坂も何箇所もあるものの、稜線上の小ピークは何れも絶景、眼下の中禅寺湖は、場所によつて形を変え、荒々しい足尾側の山並みはダイナミック。足

元に続く坂道に、自分の足もそろそろ限界かな？と一休みしていると、早々とニコニコ顔で「絶景」を連発しながら下山してくる他の登山仲間にも勇気付けられ、ついに一八

二七メートルの頂上。仲間達とおにぎりをほうばりながら、征服感を味わい、再び左右に反転した展望を楽しみつつ下山、白樺林を抜けて中禅寺湖畔の心地よい涼風に吹かれながら帰途に着きました。

今回は少しハードな行程でしたが、満足感もそれなりに大きいものでした。歩こう会の仲間も増えて、毎回行き返りのバスの中も賑やかです。自然を愛し、自分の身体を気遣いながらも、参加を戸惑っている方、あなたもよかつたら一度参加してみませんか。



社山頂上にて筆者



社山から中禅寺湖側を望む

定年後の私の生き方

定年を過ぎて私には色々な経験をしましたが、その経験が今の自分を作っているのだと思っています。

病気で二十年間頑張ってきた妻を亡くした後に関しては、何か物足りなさを感じましたがこの三十年間の経験が今の自分の生活の中で一日を過ごす原動力と成っているのです。

妻を亡くすまでは毎日日々が唯忙しくて一日を精一杯に動いていたのではないかと思います。

それが今は自分の好きなことに目を向け、家中では日常の生活の中に生き生きとした自分の安定した暮らしの原動力になっているのだと思います。

また社友会の皆様の定年後の生活について身を持って感じた事は六十歳を過ぎると半数近い方々の色々な病で苦しんでいる方を電話を通じてうかがう事が出来ていかに健康であることが大事であり幸せであるかと実感いたしました次第です。

定年と言う時期は仕事から離れて落ち着くと同じに体の変化の時でも有る様ですので安心をせずに今まで以上に自分の体をいたわると同時に自分の年齢に合った運動をして無理をせずに自分の体を作っていく事が大切ではないかと思えます。

私はたまたま会社にいた時に自分の好きな事をしていて関係上定年を迎えて時にはそれなりに体の調整が出来ていたのでは無いかと思えます。

ですから現在は自分の好きな事をやり自分で全てのことを苦も無く出来るのも、会社から現在を通じても自分で考えても思ってもいなかった事が苦も無く出来るのも在職中の経験があつたからだと思えます。

これは自然の流れであつて無理をして出来ているのでは有りません。

定年後は多くの仲間達に囲まれて毎日日々が良き方向に廻っているのだと思います。

定年を迎えた後になつてこんなに色々な人たちに囲まれて楽しく過ごせるとは思つてもいなかった事です。

これから定年を迎える人、又定年を迎えた人には私なりのアドバイスとして言えることは、まず自分に合った生き方を定年前に求めるか、定年後は自分の一番好きな事を見つけてその中で多くの友達を見つけて共有していることが自分にとつても人にとつても最良の生き方であると自分は考える次第です。

人間自然に生きても百年です。定年から数えても三十年から四十年です。その間に人として何をしたいか何をしたら良いかを自分自身で考えた末で自分の為に生きるか、人の為に生きるかは人それぞれ違いますが残された人生ですので楽しんで多くの人と生きるか、自分の為だけに生きるのかはそれぞれの生き方ですのでこれが良いと言うことは出来ませんが定年後の残りの人生ですので悔いの無い生き方をしたいものです。

残りの人生をお互いに頑張りましょう。

鈴木常忠

残りの火を消すか起こすかで人生は良くも悪しくもなります、自分の考え次第です。

私は自分の好きな事を通して子供たちを育てていけば人間として最高の幸せではないかと思ひ現在は空手道というスポーツを子供たちとその親を通してストレスも無く楽しい毎日を送らせていただいております。



定年者として今の世の中を考える時お互いに助け合っているボランティアは沢山有ると思ひます。体が不自由になつてからは自分の思つた事そのものも出来なくなりませぬ。健全な人間を作るのも私たち定年者の務めではないかと思ひ筆を執りました。皆さんもお考え下さい。

生涯学習活動

なぜ、私にこの様な表題が与えられたのか、考えました。

それは定例の編集会議を欠席したため、委員一同の欠席裁判に依るもので勉強せよとの励ましであると受け止め、無能を反省し筆を執り私なりに先に進めます。

過去を振り返ると、会社に勤務していた頃は組織人間だった。会社を離れこれまで出来なかつた地域活動に参加してみようと思ひ、シルバ―大学に入学し広く浅く社会勉強を学び、更に生涯学習ボランティアセミナーを受講して、毎日がサンデーで過ごしてはいけない、生きていく間は何か遣らねばいけないと考えました。そして自分に出来る活動としてセミナーで教わったボランティア活動に参加しています。

現在、最大の関心事は高齢化時代への対応問題だと思ひます。日本は長寿国と言われている。「長寿」「イコール」「幸福」に繋げるには、長い老後生活の中身を充実させ命の尽きる日まで



元気に動いて、楽しみや・目標を持つて過ごすことだと考えます。高齢者対策を行政や若者に頼るだけでなく、健康で元気な私達自身も大事な担い手の一人であると自覚して

福祉問題やボランティア活動を有効に行うノウハウを学び、それを活かして社会へ恩返しをする。此こそが私達自身の幸に通ずる道であり生涯学習と考えます。

古さの中に新しさがあり、それが毎日の生活ではないでしょうか。今日も昨日と同じよう平凡な一日が始まります。しかし今日は昨日と全く同じではありません。こんな時皆さんはどうしますか、学習した事を思い出し自身の経験を生かし、創意工夫してより充実した一日になるよう努力しています。

何げない生活の中で何事もなく一日が終わる、それは此までの様々な経験があつての事と思ひます。その経験を積むためにも一生涯に渡つた学習が必要だと思ひます。皆さん方も地域で名称こそ異なりますが、それぞれの地域活動に参加されて活躍されて居られる事と推察致します。社友会活動も私達に対してのボランティア活動であり同時に生涯学習ともいえます。

私達の学習が殺伐とした今の社会に潤いをもたらす地域社会を、明るくするものと自覚して、個人の体調管理には充分留意し趣味を活かした活動に参加して広くボランティア活動を支援しようではありませんか。一人では何も出来ませんが皆さんの力添えが戴けたら



浦川 正司

地域活動が活発になり、ボランティア活動の輪も広がり全員参加の生涯学習が実践出来るものと思考致します。

現在矢板地区には約50団体以上のボランティア団体があります。

私が参加しているのは『矢板市生涯学習みんな輪になろう会』です。

活動内容は

- ・環境美化運動・花の郷アヤマ園の花造り
- ・自然セミナー活動
- ・故郷の山を知り自然と触れあう
- ・絵手紙教室
- ・老人給食に添えて元気づける運動

シャープAVシステム事業本部はシャープグリーンクラブ(SGC)活動を推進、これは従業員・家族・社友会による地域美化運動です。

生涯学習は何事にせよ実践遂行する事が学習であり、本を読む勉強ではないと言ふことです。

行動の中で自分を磨きまた教知れぬ他人に喜びと、潤い樂しみを与えることが学習のひとつの手段としてボランティア活動を取りあげました。

遠は遠くに続き

活動の場は

近くにある



栃木支部 17年行事予定

栃木支部事務局

※印実施日未定

月	社友会各行事	各クラブ活動
1 月	初旬 AV事業本部年頭祈願祭 11日(火) 定例役員会 18日(火) 定例幹事会「日光」編集会議 30日(日) 新春賀詞交換会	18日(火) メビウス月例会 19日(水) 日光方面撮影会
2 月	14日(月) 定例役員会 21日(月) 定例幹事会「日光」編集会議	8日(火) メビウス月例会 16日(水) カメラ定例会
3 月	14日(月) 定例役員会 22日(火) 定例幹事会「日光」編集会議	8日(火) メビウス月例会 16日(水) カメラ作品展 中旬 第47回コンペ ※ 歩こう会予定
4 月	11日(月) 定例役員会 18日(月) 定例幹事会「日光」編集会議 下旬 本部定例総会	5日(火) メビウス月例会 20日(水) 白河方面桜撮影会 中旬 第16回ゴルフ研修会 ※ 歩こう会予定
5 月	10日(火) 定例役員会 16日(月) 定例幹事会「日光」編集会議 下旬 支部定例総会	10日(火) メビウス月例会 18日(水) カメラ定例会 中旬 第48回コンペ
6 月	14日(火) 定例役員会 21日(火) 定例幹事会「日光」編集会議	7日(火) メビウス月例会 15日(水) あじさい撮影会 中旬 第17回ゴルフ研修会 ※ 歩こう会予定
7 月	11日(月) 定例役員会 19日(火) 定例幹事会「日光」編集会議 下旬 サマーフェスティバル開催	5日(火) メビウス月例会 20日(水) カメラ定例会 中旬 第49回コンペ ※ 歩こう会予定
8 月	9日(火) 定例役員会 22日(月) 定例幹事会「日光」編集会議	9日(火) メビウス月例会 17日(水) カメラ作品展 中旬 第18回ゴルフ研修会
9 月	12日(月) 定例役員会 21日(水) 定例幹事会「日光」編集会議	6日(火) メビウス月例会 21日(水) 曼珠沙華撮影会 中旬 第50回コンペ ※ 歩こう会予定
10 月	11日(火) 定例役員会 18日(火) 定例幹事会「日光」編集会議 下旬 秋の懇親旅行予定	4日(火) メビウス月例会 19日(水) カメラ定例会 中旬 第19回ゴルフ研修会 ※ 歩こう会予定
11 月	14日(月) 定例役員会 21日(月) 定例幹事会「日光」編集会議 下旬 役員・幹事忘年会予定	8日(火) メビウス月例会 16日(水) 紅葉の撮影会 中旬 第51回コンペ
12 月	12日(月) 定例役員会 19日(月) 定例幹事会「日光」編集会議	6日(火) メビウス月例会 21日(水) カメラ定例会 中旬 第20回ゴルフ研修会

クラブ・同好会のページ

定例会・撮影会・写真展を通し
楽しく活動をしています。

カメラクラブ



定例会



写真展



会員作品
風景写真 志智 実



撮影会

新入会員歓迎します

幹事 只友将弘 ☎0287-39-6502

携帯 090-3248-7309

メビウスクラブのお便り

☆ 平成17年の行事のご案内

平成17年に下記の行事を計画いたしております。

★メビウスクラブ月例会

毎月、月初めの火曜日に月例会を開催し、パソコンのQ&Aやお互いの持っている情報の交換を行うと共に、その月のPC勉強会の確認と翌月の予定などについて参加者で話し合います。月例会の予定は13ページをご参照下さい。

◆PC勉強会のご紹介

A講座：これからPCを始めるためにご入会された方々の要望を伺い、Word・一太郎等のワープロソフトや表計算ソフトのExcel。インターネット、筆まめ等のご指導を致します。

B講座：PCの新しいトレンドを重視して、ブロードバンド、無線LAN、HDD活用、マイコンピューターの使い方、PCのAV機能の使い方、等を中心にクラブ員のご要望を基に講座を用意します。

これからの行事予定に、ご興味をお持ちの社友会員は、是非ご参加ください。

入会申込先：幹事 中村義雄 電話：44-2373 E-mail: yoshi-naka@mtg.biglobe.ne.jp

ゴルフ同好会



H 1 6. 8. 2 6 白河メドウゴルフ倶楽部

ゴルフ同好会は会員相互の親睦と健康増進を目的に、運動不足とストレス解消の為、3～12月まで年間計10回の行事を開催しています。

コンペと研修会を交互に5回開催しており参加人数も平均24名と増えています。参加される方は下記幹事まで連絡下さい。

幹事 岡部 隆一

Tel 0287-37-1053

【参考】H15～16の入賞者一覧表

	37回	38回	39回	40回	41回	42回	43回	44回	45回
	3/20	5/15	7/24	9/25	11/20	3/18	5/13	7/8	9/30
	ニューセント	千成	アローエース	矢板	那須野	アローエース	千成	ニューセント	紫塚
優勝	柏原	網野	池渕	岡沢	阿部	住吉	浦浜	岩村	郡司
2位	三好	生嶋	城本	清海	安東	岡本興	辻中	窪田	白井
3位	志賀	井村	中山	前野	岡部	中村茂	磯辺	岡部	中山



9月12日(日)晴 参加人員 21名
奥日光 半月山から社山

歩こう会

昨年は3月～10月の間に延べ6回実施しましたが、運良く何れも晴天に恵まれ季節に適した景勝地の、風景と自然を満喫し十分楽しむことが出来、参加者の皆さんからは好評を戴いております。

『山歩きの魅力を楽しむ仲間を歓迎します』
入会は下記幹事まで連絡下さい。

幹事 中村 茂

Tel 0287-44-0097



10月24日(日)晴 参加人員 27名
福島県 霊山(りょうぜん)



8月1日(日)晴 参加人員 25名
湯本温泉から戦場ヶ原

新入会員のご紹介

- ① 会員番号
- ② 氏名
- ③ 生年月日
- ④ 住所
- ⑤ 電話番号

《メッセージ》



- ① 2927
- ② 神原 紀夫
- ③ 昭和19年3月9日

三月九日に定年退職を致しました。在職中は諸先輩方のご指導を頂き、三十五年余りを栃木勤務一筋で過ごせた事を感謝申し上げますと共に、今後共社友会を通して宜しくお願い申し上げます。



- ① 2990
- ② 尾崎 育雄
- ③ 昭和19年5月11日

二〇〇四年五月十一日付で定年退職致しました。在職中は諸先輩の皆様大変お世話様になり有り難う御座いました。今後とも宜しくお願い申し上げます。



- ① 3014
- ② 徳田 俊徳
- ③ 昭和19年6月10日

二〇〇四年六月一日無事定年退職する事が出来ました。今後とも社友会の一員として宜しくお願い致します。



- ① 3015
- ② 鈴木 光典
- ③ 昭和19年6月10日

去る六月十日を持ちまして定年退職致しました。三十四年余りの間大過なく勤務する事が出来ましたのも、ひとえに先輩の皆様方のご厚情の賜物と深く感謝致しております。今後とも社友会の一員として御指導、御鞭撻の程お願い申し上げます。



- ① 3040
- ② 竹熊 健
- ③ 昭和19年7月15日

無事定年退職する事が出来ました。栃木工場稼働してから退職まで、ほとんどが第一工場でお世話になりました。退職後は家庭菜園で野菜作りを楽しんでいます。私も社友会に入会させて頂きましたので宜しくお願い致します。



- ① 3064
- ② 大橋 堅固
- ③ 昭和19年3月7日

社友会入会が二〇〇四年三月より約五ヶ月遅れましたが、この程入会させて頂きました。いずれにしても今は健康なので何らかの活動をさせて頂き度今後とも宜しくお願い致します。電子メールアドレスー

Khm23@yhb.ne.jp



- ① 3075
- ② 寺田 宏
- ③ 昭和19年3月1日

本年二月一日をもって定年退職致しました。在職中は大変お世話になりました。海外生活十一年を含めて、カラーテレビ、設計生産に専念出来ました事、幸運に思っております。これも諸先輩の皆様のご指導のお陰です、大変有り難う御座います。今後は社友会の一員として入会させて頂きましたので更なる御指導宜しくお願い申し上げます。



① 3072
② 村田 孝
③ 昭和 19 年 8 月 14 日

二〇〇四年八月二十八日をもって定年退職しました。在職中は諸先輩の皆様方に大変お世話になりました。これからも社友会の一員としてどうぞ宜しくお願い致します



① 3062
② 高久久雄
③ 昭和 19 年 8 月 28 日

在職中は先輩方の皆様に多大のご指導を頂き、お陰様で無事定年退職する事が出来、感謝しております。これからも社友会の一員としてどうぞ宜しくお願い致します。



① 3061
② 田代宏明
③ 昭和 19 年 8 月 27 日

在職中は公私共に諸先輩の皆様方に大変お世話になり、有り難う御座いました。二〇〇四年十月二日付で無事定年退職を迎え、社友会に入会させて頂きます。宜しくお願い致します。



① 3104
② 日置久義
③ 昭和 19 年 10 月 2 日

約三十六年間に及ぶ営業現場担当を無事終了し、今回社友会に入会させて頂きました。諸先輩のご指導の下、会員として有意義な時を過ごしたいと思えます。



① 3093
② 和田元良
③ 昭和 19 年 9 月 11 日

平成十六年八月定年退職し、社友会栃木支部に入会致しました。国内営業及びビデオカメラの商品企画を体験し、最後はビジネス営業としてアクオスの業務用物件営業も努めました。今後共よろしくお願い致します。



① 3105
② 三浦勝利
③ 昭和 19 年 10 月 6 日

十月六日に定年退職する事が出来ました。入社以来諸先輩の皆様方から公私共にお世話になり感謝している処です。今後は第二の人生を有意義に過ごせる様、ご指導を宜しくお願い致します。

昨年九月二十五日定年退職致しました。栃木在籍中は諸先輩の方々には大変お世話になりお礼申し上げます。早いもので奈良に来て十一年になります。この度遠方よりの入会になります。今後とも宜しくお願い致します。



① 3091
② 小林章男
③ 昭和 19 年 9 月 25 日

社友会の名簿を拝見し、懐かしい方々のお名前を見て昔を思い出して居ります。この度社友会に入会させて頂き皆様方とお会いするのを楽しみに致して居ります。宜しく御願ひ申し上げます。



② 3 1 1 6
② 田中 誠
③ 昭和 16 年 8 月 29 日

二〇〇四年十月十九日をもって無事定年退職致しました。在任中は諸先輩より大変お世話になり感謝致します。今後は、社友会栃木支部の一員として入会させて頂きましたので、ご指導宜しく御願ひ致します。



① 3 1 1 5
② 上野 嘉久
③ 昭和 19 年 10 月 19 日

喜寿・古希 お目出度う御座います

会員番号	御祝い	お名前	御祝いの日
335	喜寿	山田 一郎	平成16年 3月25日
336	喜寿	鈴木 喜四郎	平成16年 7月23日
345	喜寿	石塚 忠	平成16年 8月24日
338	喜寿	宮本 利夫	平成16年10月 2日
339	喜寿	薄井 幸市	平成16年11月25日
340	喜寿	吉川 昇	平成16年12月20日
594	古希	鈴木 宏	平成16年 1月19日
587	古希	山中 洋雄	平成16年 2月12日
588	古希	小川 武	平成16年 2月14日
608	古希	林 由三郎	平成16年 3月 8日
903	古希	上野 敦	平成16年 9月27日
652	古希	小松 博	平成16年 9月29日
668	古希	佐藤 嘉久	平成16年11月23日
679	古希	村越 満	平成16年12月15日



七月二十四日(土) 厳しい猛暑の中、汗だくだけの開催となりました。暑さに負けず奮闘の結果完売し、売上金は例年通り矢板市福祉協議会へ寄付させて頂きました。ご提供品並びにカンパのご協力誠に有り難う御座いました。

二〇〇四年シャープサマーフェスティバル
社友会チャリティーバザー出店(十回目)



ご提供品 222 点完売、ご協力有難う御座いました。
役員並びに幹事の皆さんご苦労さんでした。



さしみ定食の味は如何？



寺泊、お土産は何か？



四尺玉にビックリ！



秋の懇親旅行

片貝まつりの奉納花火大会としろね大凧

色々な凧が沢山あって、楽しかったね。



片貝まつりの奉納花火大会
夜空を彩る尺玉

秋雨の中花火見物も大変です！